

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 8 月 1 4 日
Date of Application:

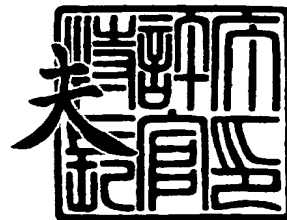
出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 3 2 6 8 7 2
Application Number:
[ST. 10/C] : [J P 2 0 0 3 - 3 2 6 8 7 2]

出 願 人 大 谷 富 夫
Applicant(s): 菊 地 英 之

2 0 0 4 年 1 月 8 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康



出証番号 出証特 2 0 0 3 - 3 1 0 9 7 2 1

【書類名】 特許願
【整理番号】 P002003-01
【提出日】 平成15年 8月14日
【あて先】 特許庁長官 殿
【発明者】
 【住所又は居所】 埼玉県川口市元郷 3 丁目 1 3 番 9 号
 【氏名】 大谷 富夫
【発明者】
 【住所又は居所】 埼玉県川口市東領家 2 丁目 2 6 番 2 号
 【氏名】 菊地 英之
【特許出願人】
 【住所又は居所】 埼玉県川口市元郷 3 丁目 1 3 番 9 号
 【氏名又は名称】 大谷 富夫
 【電話番号】 048-223-2329
【特許出願人】
 【識別番号】 500041477
 【住所又は居所】 埼玉県川口市東領家 2 丁目 2 6 番 2 号
 【氏名又は名称】 菊地 英之
 【電話番号】 048-224-0208
【提出物件の目録】
 【物件名】 特許請求の範囲 1
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図 面 1
 【物件名】 要約書 1

【あて先】
【発明の名称】 水質浄化上水道管
【請求項の数】 2

【書類名】 特許請求の範囲**【請求項 1】**

上水道管（１）の内側のモルタル層（２）及び樹脂被膜層（３）に、マイナスイオン及び 4 ～ 1 4 ミクロンの遠赤外線放射物質のトルマリン鉱石、花崗岩、滑石等の窯土類の岩石の粉石、粉末、及び炭粒粉を混合成形した水質浄化水道管。

【請求項 2】

樹脂製の上水道管（４）に、マイナスイオン及び 4 ～ 1 4 ミクロンの遠赤外線放射物質のトルマリン鉱石、花崗岩、滑石等の窯土類の岩石の微粉末体を混合成形した水質浄化樹脂管。

【書類名】明細書

【発明の名称】水質浄化上水道管

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この発明は、上水道管の内側モルタル層及び樹脂被膜層にマイナスイオン及び4～14ミクロンの遠赤外線放射物質のトルマリン鉱石を筆頭とする、鉱石、花崗岩、滑石等の窯土類の岩石の粉石、粉末、及び炭粒粉を混合成形した、上水道浄化水道管及び樹脂管である。

【背景技術】

【0002】

従来、水質浄化の装置の技術が知られている（例えば、特許文献1参照）

【0003】

【特許文献1】 特開2002-282864号公報

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

これは次のような欠点があった。

従来、各家庭に施設されている水道管は、普通の水道管で、何等、水質浄化のための工夫は為されておらず、最近悪化の一途をたどる水質汚染に対し、行政サイドも塩素の量を増やしたり、消毒殺菌に重点を置いた対策の為、残留塩素の問題、即ち塩素から発ガン性物質トリハロメタンが生成される等の大きな社会問題に発展し、人々は自己防衛上、いろいろの浄水器や浄水装置を取り付けたり、スーパー等で安全な水を購入したり等、その対策に日夜神経をとがらせているのが現状である。

本発明は、これらの欠点を除くためになされたものである。

【課題を解決するための手段】

【0005】

上水道管（1）の内側のモルタル層（2）及び樹脂被膜層（3）にマイナスイオン及び4～14ミクロンの遠赤外線放射物質のトルマリン鉱石、花崗岩、滑石等の窯土類の岩石の粉石、粉末及び炭粒粉を混合成形し、樹脂管（4）にはマイナスイオン効果の更に強力なトルマリン鉱石等の微粉末体を混合成形した水質浄化樹脂管を適用する。

【発明を実施するための最良の形態】

【0006】

以下、本発明の実施の形態について説明する。

上水道管（1）の内側のモルタル層（2）及び樹脂被膜層（3）にマイナスイオン効果及び4～14ミクロンの遠赤外線放射物質のトルマリン鉱石、花崗岩、滑石等の窯土類の岩石の粉石、粉末、及び炭粒粉を混ぜ合わせた管を成形する。又上水道樹脂管には、トルマリン鉱石等の微粉末体を混ぜ合わせた管を成形する。

本発明は、以上のような構造で、上水道管の内側に施されたモルタル層、樹脂被膜層をマイナスイオン及び遠赤放射効果の有る上水道水質浄化水道管に転化し、又上水道樹脂管には、マイナスイオン及び遠赤効果が更に強力に作用するトルマリン鉱石等の微粉末を混合成形した水質浄化樹脂管である。

これを使用する時は、水道本管、支管、各家庭引き込み用細管を問わず、水道施設事業者が従来通りの施行方法で本発明水道管を施行するだけで良い。

【発明の効果】

【0007】

本考案は、各家庭で安全な健康増進に役立つ水を、どの場所の蛇口をひねっても、いつでもどこでも供給できるように、水道管そのものを遠赤効果の特に強いトルマリン鉱石や炭等を利用して、マイナスイオン放出効果を強力に引き出し、水を瞬時に浄化する効果の有る水道管である。特に本考案の最重要構成であるトルマリン鉱石は別名電気石とも呼ば

れ、永久的にマイナスイオンや静電気を放出し続ける特性があり、このマイナスイオンが健康増進維持のために非常に役立つことは、今日は衆知の事実となっておる。そしてこの鉱石は特に、水の存在する所や、水圧のかかる所で特にその特性が顕著に働く点を考慮し

、
本考案に最適の水質浄化方法が誕生した。即ちこのトルマリン鉱石は、水に接触すると瞬時に電気分解を起こし、大量の静電気であるマイナスイオンを放出し、更に4～14ミクロンの遠赤放射効果に依り水の分子を細分化し、人間の血液（体液）にとって健康上ベストとされるPH7.5弱のアルカリ水を精製し、塩素を吸着分解するので、この方法で処理された水道水は健康に寄与し、塩素量もこれ以上増やさないですむ行政サイドの対策上限界に近い塩素殺菌の弊害もなくなり、行政サイド一挙兩得の非常に簡単に水を浄化できる考案である。更に本考案の水道管を通過した水は、飲料水は無論の事、日常の生活用水全般に付いても自然にやさしい無害な水を給排水できる21世紀の自然環境に多大の貢献をもたらす画期的考案である。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の上水道管の断面図の一部を切り欠いた図面である。

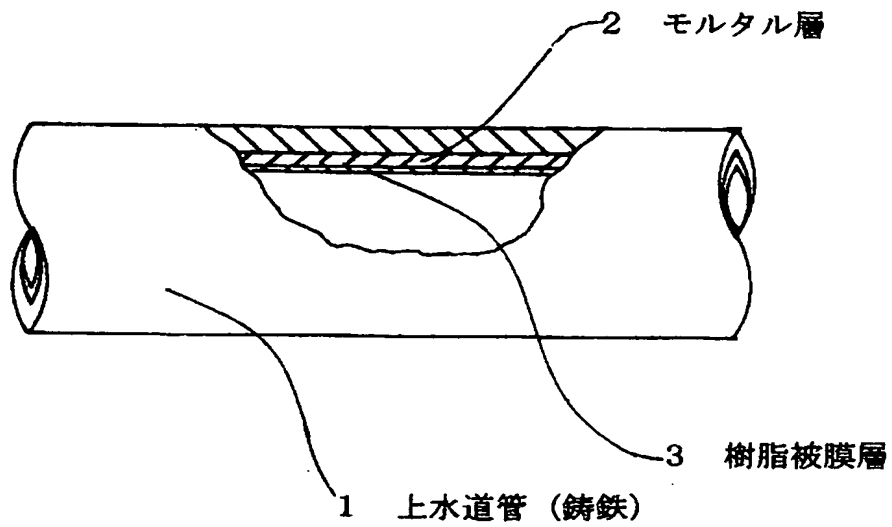
【図2】 本発明の樹脂管の断面図の一部を切り欠いた図面である。

【符号の説明】

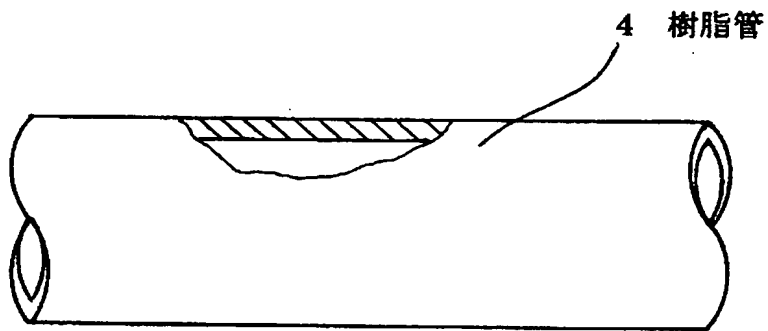
- 1 水道管
- 2 モルタル層
- 3 樹脂被膜層
- 4 樹脂管

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 蛇口の何処をひねっても常に安全な水が供給できる水質浄化水道管。

【解決手段】 上水道管（１）の内側モルタル層（２）にマイナスイオン効果及び４～１４ミクロンの遠赤外線放射物質の効果の有るトルマリン鉱石、花崗岩、滑石等の窯土類の粉石、粉末、炭粉粒を混合し、その内側に同様の樹脂被膜層（３）の特殊コーティングを施し、又樹脂製の上水道管に、マイナスイオン及び遠赤効果の更に強いトルマリン鉱石等の微粉末体を混合し成形したことを特徴とする。

【選択図】 図 1



特願 2 0 0 3 - 3 2 6 8 7 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[5 0 0 0 4 1 4 7 7]

1 . 変更年月日

1 9 9 9 年 1 2 月 2 1 日

[変更理由]

新規登録

住 所

埼玉県川口市東領家 2 丁目 2 6 番 2 号

氏 名

菊地 英之

特願 2 0 0 3 - 3 2 6 8 7 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[5 0 3 3 4 1 0 0 0]

1 . 変更年月日

2 0 0 3 年 8 月 1 4 日

[変更理由]

新規登録

住 所

埼玉県川口市元郷 3 丁目 1 3 番 9 号

氏 名

大谷 富夫